



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日
上場取引所 東

上場会社名 乾汽船株式会社
 コード番号 9308 URL <http://www.inui.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 乾 康之
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートマネジメント部長 (氏名) 加藤 貴子 TEL 03-5548-8613
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	13,332	△19.0	△1,813	—	△1,761	—	△1,803	—
2020年3月期第3四半期	16,452	△4.5	△506	—	△670	—	△236	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △1,661百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 △609百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△72.25	—
2020年3月期第3四半期	△9.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	50,505	17,219	34.1	689.31
2020年3月期	53,054	18,985	35.8	761.56

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 17,219百万円 2020年3月期 18,985百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
2021年3月期	—	3.00	—		
2021年3月期（予想）				3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,648	△14.4	△2,100	—	△2,101	—	△2,141	—	△85.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	26,072,960株	2020年3月期	26,072,960株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,092,216株	2020年3月期	1,142,679株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	24,960,199株	2020年3月期3Q	24,903,021株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、外航海運事業におけるスモールハンディ船市況が新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響を受け悪化したこと等により、売上高は前年同期比3,119百万円減収(△19.0%)の13,332百万円、営業損益は前年同期比1,306百万円減益の1,813百万円の損失、経常損益は前年同期比1,091百万円減益の1,761百万円の損失、親会社株主に帰属する四半期純損益は前年同期比1,566百万円減益の1,803百万円の損失となりました。

当社グループのセグメント別の業績は以下のとおりであります。

①外航海運事業(ロジスティクス)

外航海運事業におけるスモールハンディ船の市況は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により一時的に大きく下落しておりましたが、各国の経済活動再開の動きを受け、4月下旬に底を打ち、その後は順調に回復いたしました。一方で、各国の港におけるPCR検査等による停泊日数の増加、渡航制限や隔離措置による船員交代及びリモートドック対応等の問題は収束しておらず、収入機会の減少やコストの増加に繋がっており、市況上昇効果のすべてを享受できない状況であります。

このような状況下、当社グループの外航海運事業におきましては、売上高は前年同期比2,674百万円減収(△27.5%)の7,044百万円、セグメント損益は前年同期比1,133百万円悪化し、2,934百万円の損失となりました。

②倉庫・運送事業(ロジスティクス)

物流業界におきましては、貨物保管残高は前年同期をやや上回る水準で推移しましたが、貨物取扱量は国内経済活動全般が抑制され荷動きが鈍化したことから前年同期を下回る水準で推移いたしました。

このような状況下、当社グループの倉庫・運送事業におきましては、一般貨物に係る倉庫事業では既存荷主の取扱物量が減少いたしました。新規顧客の獲得やスポット案件の受注の積み上げが寄与し、取扱高は小幅な減少に留まりました。一方で、連結子会社の引越業では、新型コロナウイルスの感染拡大による需要減退に伴い、取扱高が大幅に減少いたしました。結果として、売上高は前年同期比416百万円減収(△12.9%)の2,822百万円となりました。セグメント損益は上述の引越し取扱高の減少や2020年4月稼働の新設倉庫における減価償却費の増加等により前年同期比221百万円減益の187百万円の損失となりました。

③不動産事業

都心部の賃貸オフィスビル市況は、低水準で推移していた空室率は緩やかながら上昇しております。新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけとしたテレワークの普及により、今後のオフィス需要の鈍化が懸念されます。また、東京23区の賃貸マンション市況については引き続き堅調に推移しております。

このような状況下、当社グループの不動産事業におきましては、既存賃貸物件は概ね安定して高稼働を維持しております。集客が困難となった店舗テナントへの賃料減免や一部既存賃貸物件の若干の稼働率低下等がありましたが、業績への影響は限定的であり、売上高は前年同期比28百万円減収(△0.8%)の3,465百万円、セグメント利益は前年同期比0百万円減益(△0.0%)の1,928百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金の減少等により前連結会計年度末比2,548百万円減の50,505百万円となりました。負債は、割賦未払金の減少等により前連結会計年度末比782百万円減の33,286百万円となりました。純資産は、利益剰余金の減少等により前連結会計年度末比1,766百万円減の17,219百万円となりました。

この結果、自己資本比率は35.8%から34.1%になりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して2,265百万円減少し、7,080百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間における営業活動の結果として得られた資金は、1,096百万円となりました。これは主として非資金損益項目である減価償却費2,398百万円等によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間における投資活動の結果として使用した資金は、1,894百万円となりました。これは主として、固定資産の取得による支出等によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間における財務活動の結果として使用した資金は、1,332百万円となりました。これは主として、長期借入金の調達及び返済や設備関係割賦債務の返済等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期(2021年3月期)の連結業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間の実績及び最近の業績動向等を踏まえ、2020年11月12日に公表した前回発表予想を以下のとおり修正いたしました。

外航海運事業においては海運先物市場に連動させた市場見込みとしておりますが、太平洋と大西洋の地域間格差が拡大している状況を踏まえ、当社船隊の主要海域である太平洋の市況に調整するため、海運先物市況に補正を加えております。また、新型コロナウイルスによる船員交代問題や渡航制限によるドックのリモート対応等による費用増大の影響については、まだ収束の見込みには至らず、通年を通して増加を見込んでおります。

2021年3月期通期連結業績予想の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 17,684	百万円 △2,565	百万円 △2,684	百万円 △2,726	円 銭 △109.25
今回発表予想(B)	18,648	△2,100	△2,101	△2,141	△85.78
増減額(B-A)	964	465	583	585	—
増減率(%)	5.5	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	21,787	△884	△1,080	80	3.23

なお、外航海運事業における為替、燃料油価格の予想前提は以下のとおりです。

	四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	第4四半期前提 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
為替レート(円/1米ドル)	¥106.57	¥104.00
燃料油価格(米ドル/MT)	US\$347.79	US\$433.11

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,599	7,358
営業未収金	1,205	977
繰延及び前払費用	479	402
貯蔵品	779	701
その他	888	664
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	12,951	10,103
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	18,361	17,687
建物及び構築物(純額)	10,007	10,984
土地	1,133	1,133
信託建物及び信託構築物(純額)	3,864	3,741
信託土地	204	204
建設仮勘定	1,863	1,487
その他(純額)	582	1,007
有形固定資産合計	36,017	36,246
無形固定資産	284	227
投資その他の資産		
投資有価証券	3,210	3,323
その他	590	616
貸倒引当金	△0	△11
投資その他の資産合計	3,800	3,928
固定資産合計	40,102	40,402
資産合計	53,054	50,505

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	1,440	2,189
短期借入金	2,810	2,710
1年内返済予定の長期借入金	3,011	2,410
未払法人税等	24	7
賞与引当金	82	25
用船契約損失引当金	26	—
割賦未払金	1,358	—
その他	592	795
流動負債合計	9,345	8,138
固定負債		
長期借入金	21,674	22,193
退職給付に係る負債	110	95
受入保証金	1,454	1,444
長期前受収益	536	536
特別修繕引当金	534	477
その他	411	400
固定負債合計	24,722	25,148
負債合計	34,068	33,286
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,767	2,767
資本剰余金	11,620	11,616
利益剰余金	5,561	3,608
自己株式	△1,114	△1,065
株主資本合計	18,835	16,926
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	253	329
繰延ヘッジ損益	△102	△36
その他の包括利益累計額合計	150	292
純資産合計	18,985	17,219
負債純資産合計	53,054	50,505

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	16,452	13,332
売上原価	15,929	14,126
売上総利益又は売上総損失(△)	523	△793
販売費及び一般管理費	1,029	1,019
営業損失(△)	△506	△1,813
営業外収益		
受取配当金	81	79
受取利息	43	9
為替差益	—	186
その他	43	42
営業外収益合計	168	318
営業外費用		
支払利息	249	231
為替差損	66	—
その他	15	35
営業外費用合計	332	266
経常損失(△)	△670	△1,761
特別利益		
固定資産売却益	2	1
子会社清算益	444	—
その他	57	0
特別利益合計	503	1
特別損失		
固定資産除却損	3	0
減損損失	—	51
その他	—	7
特別損失合計	3	59
税金等調整前四半期純損失(△)	△171	△1,819
法人税、住民税及び事業税	5	7
法人税等調整額	59	△23
法人税等合計	65	△15
四半期純損失(△)	△236	△1,803
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△236	△1,803

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△236	△1,803
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	130	75
繰延ヘッジ損益	△63	66
為替換算調整勘定	△440	—
その他の包括利益合計	△373	142
四半期包括利益	△609	△1,661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△609	△1,661
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△171	△1,819
減価償却費	2,129	2,398
減損損失	—	51
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	29	△14
賞与引当金の増減額(△は減少)	△55	△56
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	197	△57
用船契約損失引当金の増減額(△は減少)	△109	△26
受取利息及び受取配当金	△124	△89
支払利息	249	231
為替差損益(△は益)	△1	△246
固定資産売却損益(△は益)	△2	△1
投資有価証券売却損益(△は益)	△57	△0
子会社清算損益(△は益)	△444	—
売上債権の増減額(△は増加)	722	228
繰延及び前払費用の増減額(△は増加)	95	127
貯蔵品の増減額(△は増加)	△112	78
仕入債務の増減額(△は減少)	△1	△22
未払費用の増減額(△は減少)	26	44
預り金の増減額(△は減少)	32	40
未払又は未収消費税等の増減額	62	153
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	1	△10
仮払金の増減額(△は増加)	△99	275
その他	△39	△63
小計	2,327	1,221
利息及び配当金の受取額	130	94
利息の支払額	△250	△237
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△88	18
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,117	1,096
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△5,851	△1,916
投資有価証券の売却及び償還による収入	68	0
その他	△5	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,788	△1,894
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△100
長期借入れによる収入	3,350	2,793
長期借入金の返済による支出	△1,304	△2,541
設備関係割賦債務の返済による支出	△82	△1,311
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△107	△139
その他	△32	△33
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,822	△1,332
現金及び現金同等物に係る換算差額	△68	△133
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,916	△2,265
現金及び現金同等物の期首残高	11,547	9,345
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,631	7,080

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ロジスティクス		不動産 事業	計		
	外航海運 事業	倉庫・運送 事業				
売上高						
外部顧客への売上高	9,719	3,238	3,494	16,452	—	16,452
セグメント間の売上高又は振替高	—	—	23	23	△23	—
計	9,719	3,238	3,517	16,475	△23	16,452
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△1,800	34	1,929	163	△670	△506

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△670百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△670百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ロジスティクス		不動産 事業	計		
	外航海運 事業	倉庫・運送 事業				
売上高						
外部顧客への売上高	7,044	2,822	3,465	13,332	—	13,332
セグメント間の売上高又は振替高	—	1	22	23	△23	—
計	7,044	2,823	3,488	13,356	△23	13,332
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△2,934	△187	1,928	△1,193	△619	△1,813

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△619百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△619百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。